

社会福祉法人 群馬県済生会支部 埼玉県済生会栗橋病院			
文書名	院内感染防止対策マニュアル 0-4 : ME		
文書番号	感対-共手-0 部門別対応マニュアル 4-001-170901	ページ	1 / 3

文書改訂履歴

版数	改訂 頁	改訂内容	作成日 作成者	承認日 承認者
1	—	新規発行	2017. 9. 1	2017. 9. 1
			小美野 勝	長原 光

社会福祉法人 ^{群馬} 済生会支部埼玉県済生会栗橋病院			
文書名	院内感染防止対策マニュアル 0-4 : ME		
文書番号	感対-共手-0 部門別対応マニュアル 4-001-170901	ページ	2 / 3

0-4 : ME

I ME機器の消毒レベル

1. ME機器に係わる感染予防にあたっては、感染の有無にかかわらずスタンダードプリコーションに基づく取扱いをして下さい。

ME機器の消毒レベルは、多数の機器がノンクリティカル（創のない皮膚に接触するもの）に分類されます。したがってME機器全般の消毒は、低水準消毒薬を用いて下さい。

セミクリティカル（粘膜や創のある皮膚に接触するもの）や感染症に用いた場合は、該当薬液による消毒か滅菌を行って下さい。

II 留意事項

1. 機器を介しての感染を防ぐうえで日常的な清掃を心がけることが大切です。誤って汚した場合は、放置せず速やかに拭き取って下さい。

感染の拡散防止のため、汚染された機器及び器具を移動する時は消毒をするか、ビニール袋で梱包して下さい。

2. 血液・体液など有機物の付着がある場合の消毒は、薬液によりタンパク質が変性、固着して消毒効果が不十分となるため、水で十分に清拭後行って下さい。
3. 機器の操作や日常点検などで汚染された区域への出入りや感染患者さんとの接触にあたっては、その前後に必ず手指の消毒をしてください。必要に応じマスク、ガウン、手袋を着用してください。汚染された機器の清掃にあたって必要に応じマスク、手袋を着用し、自らの安全に留意して下さい。
4. ME機器管理室から貸し出した機器について感染症に用いられることがあらかじめ判っている場合または後から判明した場合は、必ずMEへ連絡をして下さい。
5. 各部署に配備されている機器は、部署ごとに責任を持って対策を行って下さい。

※ ME機器及び器具を消毒する場合は、「ME機器の具体的な滅菌・消毒方法」を参照、詳細については、各機器のマニュアルを参照して下さい。
該当薬液以外での消毒は、機器を破損する可能性があります。

社会福祉法人 ^鳥 賜 ^田 済生会支部埼玉県済生会栗橋病院			
文書名	院内感染防止対策マニュアル 0-4 : ME		
文書番号	感対-共手-0 部門別対応マニュアル 4-001-170901	ページ	3 / 3

III ME 機器の具体的な滅菌・消毒方法

機種		滅菌・消毒方法	リスク分類	備考	
人工呼吸器 麻酔器	機器本体外装 表示部	除菌クロスにて清拭	ノンクリティカル	アルコール禁	
	呼吸回路	再利用可能なものは 熱水消毒	セミクリティカル		
	各種フィルター テストハック	除菌クロスにて清拭	ノンクリティカル	表面のみ清拭、 内部は水分禁止	
	モニター	除菌クロスにて清拭	ノンクリティカル	アルコール禁 次亜塩素酸禁	
モニター	モニター外装 表示部 血圧用カフ SPO2 ^レ プローブ ECGリード線	除菌クロスにて清拭	ノンクリティカル	アルコール禁 次亜塩素酸禁	
	輸液・ 輸注ポンプ	ポンプ本体 表示部	除菌クロスにて清拭	ノンクリティカル アルコール禁	
	DC	機器本体外装 表示部 パドル ECGリード線	除菌クロスにて清拭	ノンクリティカル	アルコール禁
		IABP	機器本体外装 表示部 ECGリード線	除菌クロスにて清拭	ノンクリティカル アルコール禁
			酸素 Tent	機器本体外装 機械内部 ビニール Tent	除菌クロスにて清拭
高低体温維持装置				機器本体外装 ブランケット	除菌クロスにて清拭
	直腸温プローブ	0.1%次亜塩素酸1時間 の浸漬		セミクリティカル	アルコール禁
超音波初ライザー	機器本体外装	除菌クロスにて清拭	ノンクリティカル		
	部品	0.01%次亜塩素酸1時間 の浸漬	ノンクリティカル		
クリーンルーム	機器本体外装 ビニール Tent	除菌クロスにて清拭	ノンクリティカル		
	高圧酸素治療装置	機器本体 アクリルシリンダー マット ストレッチャー	チアミール0.05%又は マスキ0.1~0.5%で 2度拭き	ノンクリティカル	アルコール禁 次亜塩素酸禁
気管支ファイバー		機器本体	酵素洗浄剤で洗浄後、 高水準消毒薬に浸漬	セミクリティカル 滅菌・消毒方法の 詳細は別ページ 参照	
間欠的空気圧迫装置		機器本体 チューブ	除菌クロスにて清拭	ノンクリティカル	

※機器が汚れている場合は、水で十分に清拭後消毒して下さい。